(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2003年1月3日 (03.01.2003)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 03/000498 A1

(51) 国際特許分類7: B41J 2/01

(21) 国際出願番号: PCT/JP02/05976

(22) 国際出願日: 2002年6月14日 (14.06.2002)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:
特願2001-187203 2001年6月20日 (20.06.2001) JP

(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): ソニー株式会社 (SONY CORPORATION) [JP/JP]; 〒141-0001 東京都 品川区 北品川６丁目７番３５号 Tokyo (JP).

(72) 発明者; および
(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 池本 雄一郎 (IKEMOTO,Yuichiro) [JP/JP]; 〒141-0001 東京都 品川区 北品川６丁目７番３５号 ソニー株式会社内 Tokyo (JP). 中村 厚志 (NAKAMURA,Atsushi) [JP/JP]; 〒141-0001 東京都 品川区 北品川６丁目７番３５号 ソニー株式会社内 Tokyo (JP). 堀井 伸一 (HORII,Shinichi) [JP/JP]; 〒141-0001 東京都 品川区 北品川６丁目７番３５号 ソニー株式会社内 Tokyo (JP).

(74) 代理人: 小池 晃, 外(KOIKE,Akira et al.); 〒105-0001 東京都 港区 虎ノ門二丁目６番４号 第１１森ビル Tokyo (JP).

(81) 指定国 (国内): CN, JP, KR, SG, US.

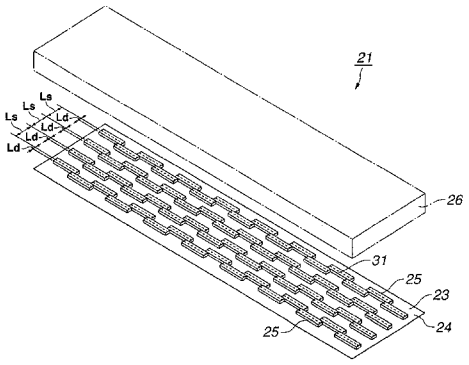
(84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR).

添付公開書類:
— 国際調査報告書

[続葉有]

(54) Title: LIQUID DISCHARGING DEVICE AND LIQUID DISCHARGING METHOD

(54) 発明の名称: 液体吐出装置及び液体吐出方法



(57) Abstract: Nozzles (31) provided to a head chip (25) are disposed so as to overlap with part of those of an adjacent head chip (25) when viewed from the feeding direction of an object to be printed, the distance Ls between nozzles between the adjacent head chips of the same color is set to a pitch of even number, and the distance Ld between nozzles between the head chips of different colors is set to a pitch of even number. A tiling part can be printed in a checker pattern when separately driving a line head by the tiling having an overlapping part. The problem that color development in the overlapping areas is different from that in the non-overlapping areas is solved.

(57) 要約:

印刷対象の送り方向より見たときに、ヘッドチップ（２５）に割り当てたノズル（３１）が、隣接するヘッドチップ（２５）の一部で重なり合うように配置し、隣接する同色のヘッドチップ間のノズル間距離Ｌｓを偶数ピッチに設定し、さらに、異色のヘッドチップ間のノズル間距離Ｌｄを偶数ピッチに設定する。これにより、重複部分を有するタイリングによるラインヘッドの分割駆動を行うに当たって、タイリング部分を千鳥格子状に印画できるようにする。また、重なった色の発色が重複部分とそうでない部分において異なってしまう問題を回避する。

WO 03/000498 A1

２文字コード及び他の略語については、定期発行される各*PCT*ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。